

地域協働学部 アドミッション・ポリシー

地域協働学部は、地域理解力、企画立案力、協働実践力という3つの知識・能力を統合した「地域協働マネジメント力」を有し、多様で複雑な地域の課題を発見・分析・統合し、産業の分野や領域の壁を越えて人や組織などの協働を創出でき、卒業後即戦力として活躍できる「地域協働型産業人材（6次産業化人、地域協働リーダー）」を養成します。

本学部では、このような人材養成の基盤となる、以下の能力・態度を有する者を求めます。

知識・技能

1. 入学までの過程で理系・文系を問わず幅広い教科を積極的に学び、さまざまな問題に対する知に対する関心を持ち、豊かな教養に裏打ちされた能力で、課題の発見・探求とその解決にあたることを志向する。
2. 地域や日本社会に生起する問題に関心を持ち、その解決のために必要とされる学問分野に興味を持って取り組める資質を有する。

思考力・判断力・表現力

1. 論理的思考力と理性的判断力を持って物事に取り組むことができる。
2. 自らの行動や体験について深く見詰め直し、客観的に分析することができる。
3. 自分の表現を客観的に見詰め、他者に伝わる表現を心がけており、口頭と文章の両面にわたって十分な表現力を持ち、他者の意見を汲み取ることができる。

主体性・多様性・協働性（※主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度）

1. 地域社会に存在する諸課題とその実践的解決、特に地域産業の振興に関心があり、積極的に地域社会の人々と協働することを志向する。
2. 学生同士の協働を基礎として、チームとして考え、行動し、課題の解決にあたることに適性がある。
3. さまざまな行動体験を有し、それらを自らのキャリア形成や地域社会の人々との協働に活かすことを志向する。